

Ave Maria in Christmas

クリスマス/アヴェ・マリア

ウィーン・アマデウス・ゾリステン

音楽の都ウィーンから、心あたたまるアヴェ・マリアの調べ
特別なクリスマスに贈る“冬の名曲集”

至福の3大アヴェ・マリア

J.S.バッハ(グノー)、シューベルト、カッチーニによる

アヴェ・マリア

ヴィヴァルディ

「四季」より“冬”

J.S.バッハ

G線上のアリア

サン=サーンス

白鳥

マスネ

タイスの瞑想曲

ゾヤ・ペトロヴァ
(ソプラノ)

パッヘルベル

カノンとジューグ

マリア・コマロヴァ
(ソプラノ)

ほか



2023年12月9日(土)14:00開演(13:20開場)
栃木県総合文化センターメインホール

主催：光藍社、公益財団法人とちぎ未来づくり財団
お問い合わせ：公益財団法人とちぎ未来づくり財団文化振興課 028-643-1010(平日8:30~17:15)
〒320-8530 栃木県宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内
光藍社チケットセンター 050-3776-6184(12:00~16:00 土日祝休み)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により出演者、曲目等が変更になる場合がございます。
※会場には駐車場がございません。周辺の有料駐車場等をご利用ください。

全席指定
(税込) 4,800円

9月13日(水) 一般発売開始

栃木県総合文化センタープレイガイド(営業時間 10:00~19:00)

電話予約 028-643-1013(発売初日は14:00~)

インターネット受付 <https://sobun-tochigi.jp/>(24時間)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>(Pコード:251-064)

ローソンチケット <https://l-tike.com/>(Lコード:32571)

イープラス <https://eplus.jp/>

光藍社WEBでのチケットお申し込み▶

<https://www.koransha.com/>

光藍社チケットセンター

050-3776-6184(12:00~16:00/土日祝休み)



《3つの至福を、アヴェ・マリア》

J.S.バッハ(グノー)、シューベルト、カッチーニ：アヴェ・マリア

《ウィーンといえばモーツァルト!》

モーツァルト：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章

モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス

モーツァルト：「踊れ、喜べ、幸いなる魂よ」より“ハレルヤ”

《バロックからロマン派まで、弦楽器のレガシー》

ヴィヴァルディ：四季より“冬”

J.S.バッハ：G線上のアリア

ボッケリーニ：メヌエット

サン＝サーンス：「動物の謝肉祭」より“白鳥”

マスネ：タイスの瞑想曲

パッヘルベル：カノンとジーク ほか

音楽の都ウィーンから、珠玉の名曲をお届けします

表現力豊かで息の合った弦楽器と清らかなソプラノの歌声。音楽の魅力を改めて感じさせ、心を満たしてくれるメロディーの数々。毎年このステージを見なければクリスマスを迎えられないという多くのファンの期待に応え、“クリスマス／アヴェ・マリア”は2000年の開催以来、今回で23回目の公演となる。今年は音楽の都、ウィーンを拠点に活動しているウィーン・アマデウス・ゾリステンがクリスマスにぴったりの名曲を届けにやって来る。基本編成は弦楽合奏(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)。曲目により、それらにソプラノや

ハーブが加わり、ハーモニーが幻想的な色彩を放つ。ソプラノによって歌われるJ.S.バッハ、シューベルト、カッチーニによる「アヴェ・マリア」では、弦楽器と調和し、豊かに響き渡る歌声に心を揺さぶられる。長きにわたり多くの人に愛されてきたこれらの曲に演奏家たちが息を吹き込み、聖母マリアの優しさに包まれる至福の「アヴェ・マリア」を堪能できるだろう。名曲の数々を質の高い演奏で聴かせてくれる、特別なコンサート。心あたたまると時をお過ごしください!



ウィーン・アマデウス・ゾリステン

音楽の都ウィーンを拠点に活動するソリスト達によって結成された室内合奏団。メンバーは国際コンクールでの入賞歴などを持つ実力派で、気鋭の若手から経験豊富なベテランまで幅広い。クラシックを始め、多彩なジャンルをレパートリーに持ち、個性的な演奏者と音楽的な調和から生まれる豊かなハーモニーは聴衆を魅了している。



ゾヤ・ペトロヴァ

コロラトゥーラ・ソプラノ。グネーシン音楽大学にてイリーナ・ルプツォワ氏に師事、その後シュニトケ記念モスクワ音楽大学にて学ぶ。M・シュナイダー＝トゥルナヴスキー国際声楽コンクール(スロヴァキア)、ヤン・キーブラ声楽コンクール(ポーランド)、エレナ・オブラスツォワ若手オペラ歌手コンクール(ロシア)など多数のコンクールにて入賞。現在はスロヴァキア国立歌劇場に所属し、ヨーロッパを拠点に活躍している。



マリア・コマロヴァ

ロシアの音楽院で学んだ後、イタリアのパルマ音楽院へ進学し、ルチェッタ・ピッツィに師事する。卒業後はイタリアのパルマ王立歌劇場、モデナ・パヴァロッティ歌劇場、フェッラーラ市立劇場や、ブルガリアのヴァルナ州立歌劇場などの公演に出演。近年はヴェルディ作品で高い評価を得ており、「椿姫」のヴィオレッタをイタリア各地で好演、昨年出演したヴァルナ州立歌劇場での「リゴレット」ジルダも好評を博した。

【ご注意とお願い】 ※チケットをご購入の際は、あらかじめ下記のことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

■記載されている情報は2023年7月現在の予定です。諸般の事情により、出演者、曲目、公演内容等が変更になる場合がございますが、公演中止など、主催者がやむを得ないと判断する場合以外のチケットの払い戻しはいたしません。最新の情報については光藍社ホームページ(<https://www.koransha.com/>)にて発表しますので、チケットご購入後は、随時ご確認いただきますようお願いいたします。■チケットご購入後の変更・キャンセルはできませんので、予めご了承ください。■未就学児のご入場はご遠慮ください。■会場内における飲食、喫煙はご遠慮ください。■写真撮影、録音、録音等は一切禁止させていただきます。■開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。■注意事項をお守りいただけない場合、主催者側の判断でご入場のお断り、または途中退場をお願いする場合がございます。